

1 学年通信『原:げん』

「なぜ勉強するの？」への答えがここに。学びは「未来を生きる力」の原石

定期考査を終え、今週は定期考査の返却がありました。1年生のみなさんはテストの結果を受け、これからの学習をどうしていくべきかと悩んでいるのではないのでしょうか。また日々の授業の中で、「この勉強は、将来何の役に立つのだろうか？」と疑問に思ったことはありませんか？ 中学校で学ぶ10教科は、単なる知識の詰め込みではありません。一つひとつの教科が、将来みなさんが社会に出たときに自分を支え、未来を切り拓くための「社会に必要な力」を磨くプロセスなのです。そこで今回の通信では、各教科の学びがどのように「社会で生きる力」に繋がっているのか、その全体像を紹介します。(今回紹介する内容はあくまでも一例として紹介します。)

10教科で育てる“社会に必要な力”の全体像

■ 社会を「読み解き、考える」力

・国語【社会の“読み解く力”】

メールや資料を正確に理解する「読解力」、意図を明確に伝える「論理的表現力」、相手の意図を汲む「コミュニケーション力」を養います。

・数学【社会の“考える力”】

物事を順序立てる「論理的思考」、数字を根拠にする「数量的判断力」、仮説と検証を繰り返す「問題解決力」を磨きます。

■ 世界を「理解し、探究する」力

・社会【社会の“理解し行動する力”】

情報の真偽を見抜く「情報リテラシー」や、経済・法律の仕組みの理解、多様な価値観を尊重する姿勢を身につけます。

・理科【社会の“探究する力”】

事実と意見を区別する「科学的思考」、情報を丁寧に見て判断する「観察・分析力」を育てます。

■ 未来を「つなぎ、創り、支える」力

・英語【社会の“つながる力”】

世界の人と協働する「国際コミュニケーション力」や、英語で発信される膨大な情報への「アクセス力」を獲得します。

・技術【社会の“創る力”】

アイデアを形にする「実践的思考力」や、現場での試行錯誤を通じた「創造力」を養います。

・家庭【社会の“支える力”】

自立した生活を送る「生活力」、家計や時間を管理する「計画力」、仲間と課題を解決する「協働力」を磨きます。

■ 心で「感じ、表現し、動く」力

・美術【社会の“表現する力”】

新しい視点で物事を捉える「創造的思考」や、言葉以外で伝える「感性コミュニケーション」を育てます。

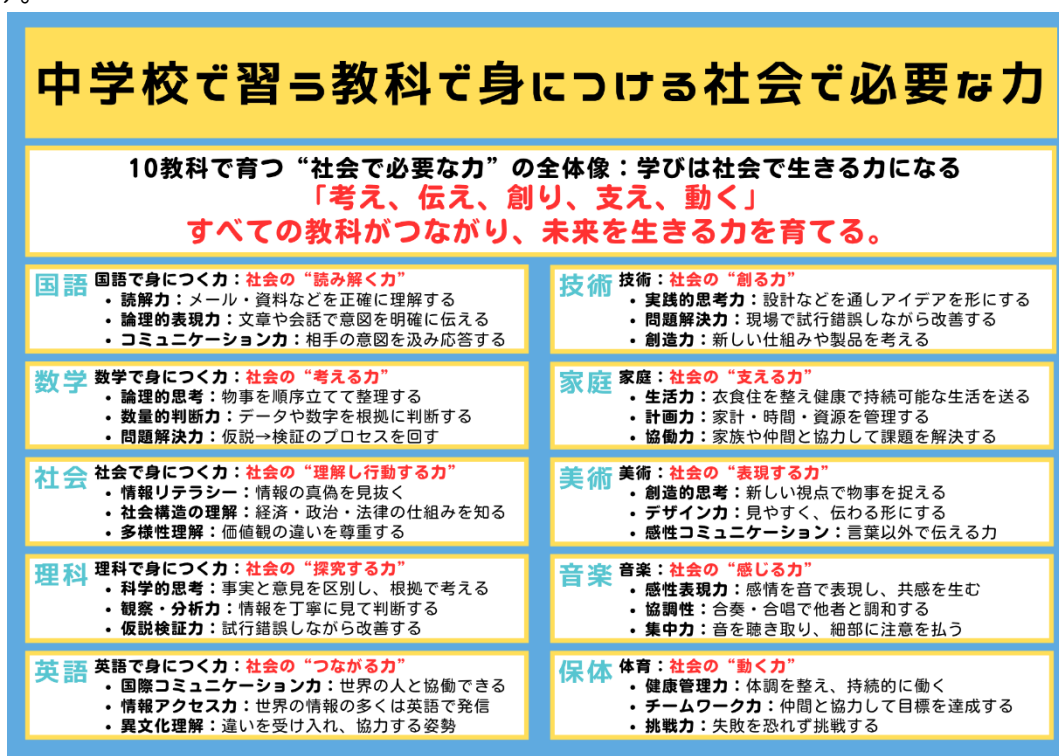
・音楽【社会の“感じる力”】

感情を音で表現し共感を生む力、合奏などで他者と調和する「協調性」を養います。

・保健体育【社会の“動く力”】

持続的に働くための「健康管理力」、仲間と目標を達成する「チームワーク力」、失敗を恐れない「挑戦力」を身につけます。

この通信で紹介した内容は学年掲示物としても掲示し、生徒のみなさんにも一度は見てもらっているのではないのでしょうか？この機会に今一度、掲示物や今回の通信を見直し、自分自身の学習に役立ててくれると嬉しいです。



「考え、伝え、創り、支え、動く」— すべての学びは繋がっている

学年通信第4号で紹介した「ラーニングピラミッド」でもお伝えしたように、学んだことを「誰かに教える（アウトプット）」ことは、知識を自分の力に変える最強の方法です。日々の授業で身につけているこれらの力は、バラバラの点ではなく、すべての教科が線として繋がり、みなさんの将来の「原動力」となります。

保護者のみなさまへ

お子様が家庭学習（目安 1 日 1 時間）に取り組む際、それが単なる宿題の消化ではなく、「社会で生きるための力を磨いている時間」とであると捉えられるよう、ぜひ励ましをお願いいたします。SN（スケジュールノート）を活用し、見通しをもって各教科の学びに主体的に取り組む姿勢こそが、将来の主体的な生き方へと繋がっていきます。

お知らせ

家庭学習強化週間に関する保護者アンケートが6月12日（金）、本日までのメ切となっております。アンケートの回答へのご協力よろしくお願いいたします。

